

大崎市有機農業・ グリーン化推進協議会

事例 1 4

アイガモロボット導入による栽培 体系転換に合わせスマート農業機 器で環境負荷低減と省力化

調達

生産

流通

消費

○構成員

大崎市、県普及センター、JA、
農業者、農機メーカー

○住所

大崎市古川七日町Ⅰ番Ⅰ号

○取組内容

有機農業、環境保全型農業の
技術向上及び理解増進等の活動

取組に対するコメント

【安部氏】

環境にやさしい農業の実現には、再生
産可能な価格での販売が必須で、価値の
共有や販路を確保することが大事になり
ます。

首都圏でのPRや交流、人材育成、市内
全小中学校給食への有機米提供など総合
的な取組をとおした気運の醸成にも力を
入れています。

【佐々木氏】

世界農業遺産に登録された大崎耕土を
次世代につないでいくため、環境にやさ
しく省力化にもつながる技術を実証、普
及や有機産地形成に向けた連携協定など、
行政や民間組織とも全国規模で連携しな
がら、有機農業を始めとする環境保全型
農業の推進を図っています。



大崎市有機農業・
グリーン化推進協議会
代表 安部 祐輝 氏



宮城県大崎市
産業経済部農政企画課
佐々木 俊太郎 氏

取組概要

【目的】

アイガモロボット導入による栽培体系転換に合わせ、3種のスマート農業機器で環境負荷低減と省力化を進める。

みどりの食料システム戦略と協調し、グリーンな栽培体系への転換に資する検証事業に取り組むことで、世界農業遺産「大崎耕土」で有機農業や環境保全型農業の普及を図る。

【内容】

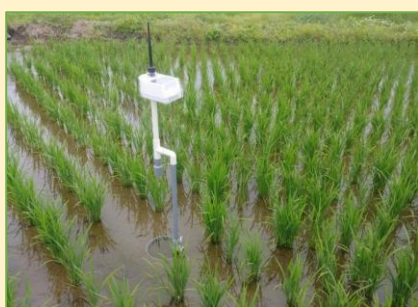
- 1 アイガモロボット
GPSを利用した自動航行（田植え後1か月間の稼働）で泥を巻き上げ光合成を抑制し除草剤の散布回数を削減。
- 2 水管理システム
スマホで水位等のデータを確認し、遠隔操作で水量調整。
見回りの頻度・時間を削減。
- 3 ロボット草刈機
リモコンロボットで畦畔等の除草作業を軽労化。
シェアリングでコスト削減。



アイガモロボ
活用による除
草・雑草抑制



水田用除草
機活用によ
る除草・雑
草抑制



水管理システム
による水田水位
の遠隔管理

取組の成果

- 1 アイガモロボットによる水田の雑草抑制
化学農薬（除草剤）の使用量低減と除草作業1～2回程度削減
- 2 水管理システムによる水田の水位等の遠隔管理
見回り時間の削減
- 3 ロボット草刈機による畦畔等の除草
除草作業の軽労化・コスト削減

○参考URL グリーンな栽培体系 取組事例（農林水産省）
https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/attempt_miyagi.html